



『From7 第53回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成25年7月3日(水) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

**演題予定**

**1. 【インプラント上部構造体の製作において】**

歯科技工士 勝亦 晃也（白鳥歯科インプラントセンター）

『インプラント補綴の製作において、現在使用している機具や機材の特性、性質などを今一度見直し、より良い補綴物を製作するにはどうしたら良いか、症例を通じて発表させていただきます。』

**2. 【根管充填について】**

歯科医師 庵原 桃子（白鳥歯科インプラントセンター）

『前回、歯内療法の科学的根拠に基づいた基本的術式についてお話させていただきました。今回はその中で根管充填に焦点を絞ってお話させていただきたいと思います。』

**3. 【不良補綴による咬合崩壊をインプラントで回復した一症例】**

歯科医師 望月 研司（伊東：望月歯科医院）

『患者様が来院する理由は様々で、要望も多岐にわたるため我々歯科医師は患者に合わせた治療オプションが必要となり、それを提示する知識とスキルを必要とする。インプラントに関しても一つの治療オプションのひとつにすぎないが、歯の欠損に悩む患者にとっては救世主にもなりうると考えている。

今回、欠損部にインプラント治療を希望され来院された患者様に、現在装着されている補綴を見直し咬合を再構成すべきか現状のままインプラント補綴のみで終了させるのかを検証し、咬合再構成した症例を供覧していただき、様々なご意見をいただきたいと思います。』

**4. 【第二回ピエゾアカデミーワールドシンポジウム（フィレンツェ）に参加して】**

歯科医師 白鳥 清人（白鳥歯科インプラントセンター）

『さる6月13日(木)、14日(金)、15日(土)の三日間、イタリアのフィレンツェにて、第二回ピエゾアカデミー、ワールドシンポジウムが開催され、2年前の前回に引き続き、学会より演者として招待を受け講演させていただく機会を得た。この学会は、ピエゾサージェリーの開発者であるベルチェロッチェを中心とした学会であり、以前はイタリア国内でイタリア語で行っていた学会であるが2011年に初めて場所をスイスに移し英語で国際学会として新たにスタートした。今回は、このワールドシンポジウムの第二回であり、私は、サイナスリフトのセッションで講演させていただいた。今回のFrom7では、この学会の様相、私の講演内容、そしてフィレンツェの美しい街について報告します。』